

- 問1 九州地方の農業産出額の内訳において、米の割合が約7%にとどまる一方で、畜産の割合が約46%と全国的にも非常に高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 冬の降雪量が多く農作業が制限されるため、安定した収入が得られる工芸作物の栽培と酪農を組み合わせた経営が主流だから。 | 2. 平坦な土地が少なく大規模な水田開発が困難であったため、山間部を中心に羊やヤギなどの小規模な放牧が伝統的に行われてきたから。 | 3. 大都市圏への出荷を目的として、鮮度が重要視される野菜や果樹の生産に特化しており、家畜の飼育は副次的なものだから。 | 4. 南九州を中心に分布する水持ちの悪いシラス台地において、広大な土地を活かした肉牛や豚などの飼育が盛んに行われているため。 |
|--|--|---|--|
- 問2 日本において「モータリゼーション」が進展した背景とその影響について説明した文として、正しいものはどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 戦後の復興期に、鉄道網の整備が遅れた地域で代替手段として乗用車が普及したことにより、全国的にバスの利用者が増加した。 | 2. 高度経済成長期に、都市部での交通渋滞を解消するためにバスの利用が奨励され、自家用車の保有台数が抑制された。 | 3. バブル経済期に、レジャー目的で大型車が普及したことをきっかけに、全国の主要駅を結ぶバス路線の新設が相次いだ。 | 4. 高度経済成長を経て自家用車が広く普及し、郊外での買い物や通勤が便利になった一方で、地域のバス路線の維持が困難になった。 |
|---|--|---|--|
- 問3 日本の鉱物・エネルギー資源の輸入において、石炭の輸入先としてオーストラリア（最大）に次ぎ、全体の約15.5%を占めている東南アジアの国はどこですか。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|---------|-------------|
| 1. インドネシア | 2. 南アフリカ | 3. カタール | 4. アラブ首長国連邦 |
|-----------|----------|---------|-------------|
- 問4 宮城県などの暖かい地域で、多額の費用をかけてビニールハウスを設置し、野菜の出荷時期を本来の季節より早める「促成栽培」を行う最大の目的として、最も適切なものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1. 他の産地の出荷が少ない時期に販売することで、高い価格での取引を狙うため | 2. 高冷地の涼しい気候を利用して、他の産地より出荷時期を遅らせるため | 3. 大都市のすぐ近くで栽培することで、輸送にかかる時間とコストを抑えるため | 4. 農業や化学肥料の使用を抑え、農産物のブランド価値を高めるため |
|--|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
- 問5 2012年度から2016年度における外国人宿泊者数の推移について、夏季（7月～9月）は80.5万人から185.8万人へ、冬季（1月～3月）は117.2万人から300.9万人へと推移しました。この期間の動向について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 夏季・冬季ともに増加しているが、増加幅は夏季の方が大きい。 | 2. 全体として宿泊者数は減少傾向にあるが、冬季のみ微増している。 | 3. 夏季の宿泊者数は増加しているが、冬季は2012年度を下回っている。 | 4. 夏季・冬季ともに増加しており、特に冬季の増加幅が夏季を上回っている。 |
|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問6 北海道が産出額の第1位（約8.9%）を占め、次いで千葉県や茨城県が上位となっている農産物区分（野菜）について、千葉県や茨城県で生産が非常に盛んである理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 水はけの良い傾斜地や火山灰地を利用して、ブドウやモモなどの栽培に特化しているため | 2. 大消費地である東京に近いという立地を活かし、鮮度を保ったまま出荷できるため | 3. 冬でも温暖な気候を活かして、他の地域よりも収穫時期を早める促成栽培が中心であるため | 4. 広大な十勝平野などを利用し、大型機械を用いた大規模な土地利用型農業を行っているため |
|---|--|--|--|
- 問7 東京駅から新大阪駅を結ぶ主要な鉄道路線において、神奈川県の小田原市付近を通り、太平洋側の地域を走行する経路がとられているものがあります。この路線が通過する都道府県として正しいものはどれですか。（2025年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 福井県 | 2. 長野県 | 3. 和歌山県 | 4. 愛知県 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問8 山形県のように県土の約七割を森林が占める地域では、森林は人々の暮らしと密接に関わっています。森林に囲まれた里地山地域において、森林が果たしている役割や文化的な背景について述べたものとして適切なものはどれですか。（2020年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 森林をすべて伐採して居住面積を広げることで、都市部への人口集中を解消し、近代的な景観を作り出している。 | 2. 豊かな自然環境が食文化や景観を育み、木材の供給や水源の涵養といった多様な恩恵を地域社会に提供している。 | 3. 森林が持つ地熱エネルギーを主要な産業基盤とし、山間部において重化学工業を中心とした経済活動を行っている。 | 4. 森林地帯を完全に隔離して人の立ち入りを禁止することで、野生動物の繁殖のみを目的とした空間として利用している。 |
|--|--|---|---|
- 問9 成田国際空港における貿易では、輸入額において通信機や医薬品、集積回路が上位を占めています。これらの品目が航空機輸送において優先的に扱われる理由として、最も適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 航空機は内陸部へ直接着陸できるため、大型の自動車などを消費地の近くへ運ぶのに適しているから。 | 2. 航空機は一度に大量の物資を運べるため、石油のようなエネルギー資源の輸送に効率が良いから。 | 3. 航空機は運送費用が高いため、輸送コストを負担できる程度の高価で軽量の製品が向いているから。 | 4. 航空機は天候の影響を全く受けないため、鉄鋼などの工業製品を納期通りに運ぶのに適しているから。 |
|---|---|--|---|
- 問10 1970年と2010年の日本の人口構成を比較すると、15歳から64歳の「生産年齢人口」の割合が低下し、65歳以上の「老年人口」の割合が急速に高まっています。この人口構成の変化が社会保障制度に与える影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 労働力不足を補うため、義務教育を終えていない年少人口の就労を奨励する制度が導入される。 | 2. 老年人口の増加により国内の消費活動が活発化し、社会保障費をすべて消費税で賄えるようになる。 | 3. 年少人口が減少するため、浮いた教育予算によって年金支給額を大幅に増やすことができる。 | 4. 現役世代が保険料などで高齢者を支える仕組みにおいて、一人あたりの負担が重くなる。 |
|--|--|---|---|
- 問11 日本の水産業において、人工的な設備で卵からふ化させた稚魚や稚貝を、外敵に襲われにくい大きさまで育ててから自然の海や川へ放流し、成長した後に漁獲する仕組みを何と呼びますか。（2018年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 養殖業 | 2. 沖合漁業 | 3. 栽培漁業 | 4. 遠洋漁業 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問12 1980年代以降、日本の経済状況において「産業の空洞化」が深刻な問題となった要因として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 国内の消費を拡大させるため、政府が海外企業の工場を積極的に誘致したため | 2. 不況への対策として、政府が海外製品の輸入を大幅に拡大させたため | 3. 円安が進んだことで輸出が急増し、国内の労働力が不足したため | 4. 貿易摩擦や円高への対応として、企業が製造拠点を海外へ移転させたため |
|--|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|